



テーマ
Theme 地震と防災についての学習

学校名
School name 近江八幡市立安土中学校
(1年生)

講師等
Lecturer etc. 滋賀地震防災市民ネット

実施日
Date 平成27年1月9日

教科等
Subject 社会

授業
Class



阪神大震災から20年となる節目にあたり、地震が起こる仕組みや滋賀県での地震の可能性、また、過去の地震に対する教訓や自分の身を守るために何をしたらよいかなどを写真やクイズなどを通して、講師の方がわかりやすく教えてくださいました。日本は世界でも有数の地震国で、過去に大きな被害を受け、阪神大震災では6400人以上の方が亡くなり、何万人もの人が怪我をしました。地震の怖さはいつ来るかわからないことです。こんなに多くの方が被害にあった理由の1つに、発生した時間帯等もありますが、地震に対する「備え」をしていなかったことも挙げられます。亡くなった8割以上の方が、倒れた家や家具の下敷になったことから、家具の置き方等の備えや、もし、学校で、階段で、登下校中で地震が起きた時の具体的な身の守り方等を実際に考えました。地震に大きく関わるプレートと活断層についても、地球をゆで卵に例えて説明いただいたり、滋賀県で地震を起こす可能性がある大きな活断層等を地図で示しながら、滋賀県にも大きな地震の危険があることを説明されました。最後に、講師の方は「地震に限らず大きな災害が起きた時、自分たちは何をしなければいけないか、家族と一緒に話し合い、みんなが支え合い、向き合う思いやりの気持ちを育てほしい。そして、みんなが生きていることの喜び、命の大切さを感じてほしい。」と、おっしゃっていました。

感想

Impression

生徒の感想 Impression from Children

- 今回の学習で知ったことは、滋賀県にはたくさんの活断層があり、いつ地震が起きてもおかしくないということです。地震のことは、新聞やテレビなどで分かっていたつもりでしたが、お話を聞いていると、知らなかったことがたくさんありました。僕たちは講師の方の話を聞いて終わるのでなく、広めたり、呼びかけたりしたいと思いました。そして地震に対する意識を、常に持つておかねえといけないと思いました。
- 琵琶湖の西岸部には大きな活断層があります。だから家ではタンスにツツパリ棒をつけたり、寝る時にカーテンを閉めるなど災害から身を守るためのことをしっかりしていきたいです。
- 防災について考える授業の前は、滋賀県は内陸に位置しているので安全だと思っていました。しかし、滋賀県も阪神大震災以上の震災が起こる可能性があることと知り、普段からしっかり地震に対応できるようにしなければいけないと思いました。地震に対する備えとして、家具の配置を考えたり、防災用品を準備することを心がけようと思います。
- 講師の方から、地震に対する知識や対応、心構えを聞きました。もし地震が起こったら、自分が先頭に立って教えていただいた知識で家族などを引っばって行けるようになります。

学校より Impression from school

電話だけでなく、直接、訪問いただき、事前の打ち合わせが十分に出来ていたことが良かったです。当日は、写真やわかりやすい掲示物やDVDなどを、たくさん用意していただき、ワークシート形式の進め方も分かりやすかったです。時間が足りないと思うので、出来れば2、3時間継続して行えたら、なお良いと思いました。

講師より Impression from lecturer

3クラス合同でという提案もありましたが、クラス毎の授業にこだわりました。授業は、こちらにまかせきりでなく、必要に応じ先生がサポートしてくださり、スムーズに進めることが出来ました。事前の打ち合わせで、話す内容等を詳しく説明していたことが良かったです。